

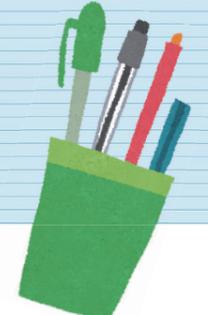


生徒の感想(一部抜粋)

キャリアチャレンジデーで聞いた2つの会社のように、人々のためを考えて、実行できるような会社(職)に就きたいです。そのため、これからの学校生活では、講師の方からアドバイスをもらったように、いろいろなことにまずはチャレンジして、いろいろなことを知りたいなと思いました。それから、自分のやりたいことや、選択肢を増やしていきたいです。

働く理由について、講師の方は「お客さんを喜ばせる」ためだとおっしゃっていました。生きていくうえでお金は必要。そのお金をいただくのだから、日々の仕事は精一杯、お客様のために真摯に取り組んでいる様子に感動しました。私も自分の仕事に誇りをもてるような人間になりたいです。

キャリアチャレンジデーで企業の人話を聞いて、今の勉強をちゃんとしておくことが大事だと思いました。今の自分のしたいこと(将来のこと)が変わらない限り、それについての勉強もたくさんしていきたいと思いました。



香美市キャリアチャレンジデー

On-Line Meets

香美市では、平成25年度から市内の全小中学校が、香美市の豊かな教育資源(人・自然・伝統・産業・保育所から大学まである環境など)を活かしながら『キャリア教育』に取り組んでいます。キャリアチャレンジデーは、その一環として市内の中学生を対象に行っているプログラムです。令和元年度までは、高知工科大学を会場に、地域の皆さんの協力をいただき、鏡野中学校、香北中学校、大柘中学校の1・2年生が一同に集まって開催していましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となりました。今年度はコロナ禍により工科大学での開催はできませんでしたが、各中学校を会場にオンラインで結びキャリアチャレンジデーを開催しました。



▲令和元年度に工科大学で行われたキャリアチャレンジデー

～ キャリアチャレンジデーOn-Line Meetsのねらい～
 オンラインを通して様々な業種の企業、職種の方から話を聞くことで、『職業の役割とそれに必要な能力との関係』について考えるとともに、出会った人々の生き方や考え方に触れることを目的としています。

9月10日に、市内の中学2年生(大柘中学校は2、3年生)の約170名が学校ごとに企業6社とオンラインでつながり『香美市キャリアチャレンジデー』が行われました。7月から始まった事前学習では、中学生が1人1台タブレットを活用し、『働くこと』について意見交流をしたり、参加企業について調べたり、講師への質問を考えました。当日は、『公益財団法人スペシャルオリンピックス日本』『大日本住友製薬株式会社』『株式会社ローソン』など計6企業の講師が、会社や働く人の『意志』『役割』『能力』とともに、SDGs(持続可能な開発目標)の取組などについて、分かりやすく、興味を引きつける内容で話をしてくれました。中学生は、熱心に講師の話に耳を傾けたり、講師に質問をしたりしながら、社会で働く人の思いを感じることができたと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で、外に出て学ぶ機会が減っていますが、オンラインでつながることで新しいかたちの学びができました。



▲自分を成長させる『意思・役割・能力』の関係

キャリアチャレンジデーを通して、気づいたこと・学んだことを、自分自身のこれからの生き方につなげていってもらいたいと思います。そして次年度には、新型コロナウイルス感染症が収束し、地域の企業の方々と交流できることを願っています。



▲タブレットに企業への質問を入力し、グループで共有



▲企業の情報をインターネットで調べて、質問内容を考えた